

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 5 月 21 日 (2009.5.21)

【公開番号】特開 2007-281689 (P2007-281689A)
 【公開日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-041
 【出願番号】特願 2006-103227 (P2006-103227)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/93 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 4 月 6 日 (2009.4.6)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

撮影中の映像を保持する第 1 のメモリ手段と、

前記第 1 のメモリ手段に保持された映像を記録媒体に記録する手段と、

前記撮影中の映像を、前記記録媒体に記録しながらメイン画面に表示すると共に、前記撮影中の映像を、前記記録媒体に記録しながら撮影開始から一定時間分の映像を前記メイン画面の一部であるサブ画面に表示する表示手段を有することを特徴とするビデオカメラ。

【請求項 2】

前記撮影開始から一定時間分の映像を保持する第 2 のメモリ手段を有し、

前記撮影開始から一定時間分の映像は、前記第 2 のメモリ手段から読み出され、前記表示手段により前記サブ画面に表示されることを特徴とする請求項 1 に記載のビデオカメラ。

【請求項 3】

前記撮影開始から一定時間分の映像が保持されている前記第 1 のメモリ手段の領域を上書き禁止エリアに設定する手段を有し、

前記撮影開始から一定時間分の映像は、前記第 1 のメモリ手段から読み出され、前記表示手段により前記サブ画面に表示されることを特徴とする請求項 1 に記載のビデオカメラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 0】

上記課題を解決するため、本発明に係るビデオカメラは、撮影中の映像を保持する第 1 のメモリ手段と、前記第 1 のメモリ手段に保持された映像を記録媒体に記録する手段と、前記撮影中の映像を、前記記録媒体に記録しながらメイン画面に表示すると共に、前記撮

影中の映像を、前記記録媒体に記録しながら撮影開始から一定時間分の映像を前記メイン画面の一部であるサブ画面に表示する表示手段を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本発明によれば、ビデオカメラで動画を撮影する際に、撮影中の映像を記録しながら撮影開始からの一定時間分の映像を画面に表示している。これにより、撮影中に撮影開始直後の映像を画面で確認できるので、撮影の成否を迅速に確認でき、撮り直す場合でもすぐに次の撮影準備を行うことができる。